



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名 スターゼン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8043 URL <http://www.starzen.co.jp>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)秋山 律
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)中井 俊夫 TEL 03-3471-5521
 財務経理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	63,469	0.0	453	△2.2	762	1.1	391	△16.1
23年3月期第1四半期	63,462	13.8	463	△37.9	754	△20.5	466	38.3

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 244百万円(234.2%) 23年3月期第1四半期 73百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	5.24	—
23年3月期第1四半期	6.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	94,334	24,926	26.2
23年3月期	95,432	25,199	26.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 24,717百万円 23年3月期 24,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	7.00	7.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	130,000	1.5	1,200	0.8	1,300	△13.7	600	△38.9	8.04
通期	265,000	0.8	3,000	2.1	3,200	△4.8	1,500	△9.7	20.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (—)、除外 — 社 (—)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期1Q	87,759,216株	23年3月期	87,759,216株
24年3月期1Q	13,108,100株	23年3月期	13,106,838株
24年3月期1Q	74,651,538株	23年3月期1Q	74,671,472株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、東日本大震災により大きな被害を受け、いまだ回復が遅れている状況が続いております。

食肉業界においても、東北地方の飼料メーカーの震災被害による生産農家へ深刻な影響や物流網の寸断による小売流通業の落ち込みなどにより、牛肉・豚肉・鶏肉全ての畜肉生産と消費が大きな打撃を受けました。

また、震災後の全国的な自粛ムードの高まりにより、牛肉を中心とした高級部位の消費不振が鮮明となり、加えて、富山県を中心に発生した食中毒事件の発生により、焼肉を中心とする外食需要は落ち込みました。

このような状況の中、当社は販売拡大を積極的に行った結果、売上高は前年同四半期実績を維持致しましたが、営業利益は減少致しました。

以上の結果、当第1四半期の連結売上高は、634億69百万円（前年同四半期比6百万円増）、営業利益は4億53百万円（前年同四半期比2.2%減）、経常利益は7億62百万円（前年同四半期比1.1%増）となり、四半期純利益は、3億91百万円（前年同四半期比16.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

＜食肉関連事業＞

食肉関連事業の売上高は628億81百万円（前年同四半期比16百万円増）となりました。また、品目別の業績は次のとおりであります。

（食肉）

国産牛肉は、自粛ムードの拡大による外食消費の減少と食中毒事件による焼肉需要の落ち込みにより、和牛肉を中心に販売は苦戦致しました。国産豚肉は集荷頭数の減少と相場高により販売は厳しい状況となりました。国産鶏肉は東北地区での飼料不足により生産量が落ち込んだため、他の地域での供給拡大を図りましたが、取扱量は減少しました。

一方、輸入牛肉と輸入豚肉の取扱量と売上高は前年同四半期並みとなりましたが、輸入鶏肉は国産品の不足を補うために輸入量が増加したことから、取扱量と売上高は前年同四半期を上回りました。

これらの結果、食肉部門の売上高は526億53百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

（加工食品）

消費面では、震災直後は調理の容易な加工食品の需要増が見られましたが、その後、買い控えや景気の先行不透明感により一層の低価格志向が強まりました。さらに、食中毒事件により一部の焼肉商材の販売が低迷しましたが、ハンバーグを始めとした幅広い品目の販売拡大に努めました。昨年の食品加工企業の買収効果もあり、加工食品部門の売上高は69億56百万円（前年同四半期比9.1%増）となりました。

（ハム・ソーセージ）

主力ブランドの「フェストエッセンスシリーズ」や生活応援型商品である「元気な食卓シリーズ」などのコンシューマー製品が順調に推移いたしました。さらに、加工食品と同様に企業買収効果もあって、ハム・ソーセージ部門の売上高は24億36百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

（その他）

その他につきましては、食品小売部門の事業整理等に伴い売上高は8億35百万円（前年同四半期比15.1%減）となりました。

＜その他の事業＞

その他の事業は主に外食関連事業及び製麺事業等で、その売上高は5億87百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、78百万円増加し、576億68百万円となりました。これは、主として売掛金が減少したものの、前渡金や商品及び製品が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、11億70百万円減少し、366億7百万円となりました。これは、主として当第1四半期連結累計期間より、連結の範囲から除外した会社があった為、建物及び構築物、土地が減少したことによります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、10億97百万円減少し、943億34百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、6億54百万円増加し、483億49百万円となりました。これは、主として買掛金が減少したものの、短期借入金および未払金が増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、14億78百万円減少し、210億58百万円となりました。これは、主として長期借入金が増加したことによります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、8億24百万円減少し、694億8百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて2億73百万円減少し、249億26百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今期の見通しは、サプライチェーンの立て直しや生産活動の回復により一部の業種に景気回復の兆しが見られるものの電力供給の制限や原発問題の見通しが不透明なことから、厳しい環境が続くものと思われま

す。食肉業界においては、東北地方を中心に、放射能問題により、国産食肉に対する消費意欲の低迷が懸念されます。

このような状況の中、当社グループは、これまでの組織再編による分社化の経営効率化を最大限追求し、地域密着対応、組織の活性化を継続し、国内での全商品シェアアップと海外における産地開発を進めてまいります。

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月13日決算発表時の業績予測から変更はありません。連結売上高2,650億円、連結営業利益30億円、連結経常利益32億円、連結当期純利益15億円を見込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,483	11,194
受取手形及び売掛金	29,107	25,291
商品及び製品	10,425	11,866
仕掛品	579	324
原材料及び貯蔵品	1,331	1,235
その他	5,807	7,893
貸倒引当金	△146	△137
流動資産合計	57,589	57,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,052	10,412
土地	10,129	9,527
その他（純額）	5,350	5,330
有形固定資産合計	26,532	25,270
無形固定資産		
のれん	1	1
その他	212	201
無形固定資産合計	214	202
投資その他の資産	11,030	11,135
固定資産合計	37,777	36,607
繰延資産	64	58
資産合計	95,432	94,334

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,581	15,100
短期借入金	18,077	20,405
未払法人税等	615	415
賞与引当金	1,230	664
その他	10,190	11,763
流動負債合計	47,695	48,349
固定負債		
社債	5,100	5,100
長期借入金	12,309	10,925
退職給付引当金	1,766	1,693
その他	3,361	3,339
固定負債合計	22,537	21,058
負債合計	70,232	69,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,899	9,899
資本剰余金	10,620	10,620
利益剰余金	7,422	7,290
自己株式	△2,246	△2,247
株主資本合計	25,695	25,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△76	△94
繰延ヘッジ損益	△423	△545
為替換算調整勘定	△213	△206
その他の包括利益累計額合計	△713	△846
少数株主持分	218	208
純資産合計	25,199	24,926
負債純資産合計	95,432	94,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	63,462	63,469
売上原価	57,851	57,800
売上総利益	5,610	5,669
販売費及び一般管理費	5,147	5,216
営業利益	463	453
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	36	37
不動産賃貸料	170	128
受取保険金及び配当金	180	178
持分法による投資利益	7	24
その他	160	171
営業外収益合計	570	554
営業外費用		
支払利息	147	130
不動産賃貸費用	71	56
その他	60	57
営業外費用合計	279	245
経常利益	754	762
特別利益		
固定資産売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	12	—
特別利益合計	13	—
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	6	7
減損損失	2	—
投資有価証券評価損	1	13
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	344	—
特別損失合計	355	20
税金等調整前四半期純利益	411	742
法人税、住民税及び事業税	403	389
法人税等調整額	△429	△24
法人税等合計	△25	365
少数株主損益調整前四半期純利益	437	376
少数株主損失(△)	△29	△14
四半期純利益	466	391

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	437	376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	△18
繰延ヘッジ損益	△294	△121
為替換算調整勘定	4	7
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
その他の包括利益合計	△363	△132
四半期包括利益	73	244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	102	258
少数株主に係る四半期包括利益	△29	△14

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

当社は、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。